

ITO
JUKU

伊東建築塾

NPOこれからの建築を考える

2022年度ご案内



2022年度に向けて

私達の伊東建築塾ではすべての講座を対面で行うことを原則としてきました。人と人のコミュニケーションでは、相手の表情を読み取ることが不可欠だと考えているからです。

このところコロナ禍の影響でスケジュール通りの活動が出来ず、皆様には御迷惑をおかけしてしまいましたが、本年度はすべてが予定通り行われることを期待しております。

公開講座では昨年に続き「～って何だろう」シリーズを行います。

皆様よく御存知の名和晃平氏には「アート」について、続いて野田秀樹氏には「演劇」について、またユニクロのデザインディレクターの滝沢直己氏には「ファッション」について語っていただく予定です。夏以降には鞍田崇氏による「民藝」、美しい写真で知られる畠山直哉氏には「写真」のレクチャーなども考えております。

私も「建築」について再び話させて頂こうと思っております。昨年の講師の方々のレクチャーを聴き、よりわかりやすく、より原点に立ち返って話したいと考えております。

子ども建築塾では昨年同様二組に分けて36名を募集し、前期は「橋のいえ」、後期は昨年に続き「百人島Ⅱ」というテーマで行う予定です。御期待下さい。

2022年3月

NPOこれからの建築を考える

理事長 伊東 豊雄



伊東豊雄

1941年生まれ。建築家。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国家歌劇院」(台湾)など。日本建築学会賞、ヴェネツィア・ビエンナーレ金獅子賞、プリツカー建築賞など受賞多数。

2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築を考える建築教育の場として様々な活動を行っている。また、自身のミュージアムが建つ愛媛県今治市大三島においては、塾生有志や地域の人々とともに継続的なまちづくりの活動に取り組んでいる。

「NPOこれからの建築を考える」は、東京の伊東建築塾と、瀬戸内海の大三島にある今治市伊東豊雄建築ミュージアムを結ぶ新しい建築教育の場です。この二つの機関を運営するために2011年にNPO法人を立ち上げました。これからの時代や社会に要請される、優れた人々を育成することを目的とし、人や自然との関係を包括的に捉え直す思想に基づいた建築教育を行っていきたいと考えています。

組織

理事長：伊東豊雄

副理事長：太田浩史

理事：所 洋介、長谷川浩司、村松 伸、
矢内原充志、橋田光靖、尾越 優、
藤原史宣、泉 洋子、東 建男、
岡野道子、古川さくみ

監事：古林豊彦

会員数（2022年2月1日現在）

正会員：個人 142 名、団体 20 社 計 162 名

賛助会員：個人 1 名、団体 12 社 計 13 名

活動内容

A 伊東建築塾事業

①会員公開講座（年間6回開催）

さまざまな分野で活躍する講師を招くレクチャーシリーズ。

②子ども建築塾（前期・後期2期制、年間20回開催）

年間を通じて建築の基礎を学ぶ子ども向けの建築スクール。

B 今治市伊東豊雄建築ミュージアム企画運営事業

展覧会企画

講演会・セミナー・コンサート・ワークショップ企画

運営サポート

活動場所

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12

アクセス：恵比寿駅より徒歩約13分

※駐車場はありません。

お車でお越しの方は、お近くの
コインパーキングをご利用ください。



伊東建築塾 恵比寿スタジオ ©Kai Nakamura



子ども建築塾の様子



今治市伊東豊雄建築ミュージアム ©Kai Nakamura

NPOこれからの建築を考える 会員募集のご案内

会員種別・会費

会員種別	入会金	納入額
正会員（個人・団体）	0円	10,000円（年会費7,000円、寄付金3,000円） ※10,000円を超える金額をお支払いいただいた場合は 寄付金とさせていただきます。
賛助会員（個人・団体）	0円	年会費300,000円／口（1口以上）

- ・正会員は当法人の目的に賛同し、活動を推進する個人および団体の方です。
- ・賛助会員は当法人の目的に賛同し、活動を援助する個人および団体の方です。

会員期間

新規（1年目）の場合、入会日より1年間（入会月の翌年同月末日まで）有効。

継続（2年目以降）の場合、更新月の翌年同月末日まで有効。

会員特典

正会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回1名まで）
ただし、各回事前のお申し込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

賛助会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回2名まで）
ただし、各回事前のお申し込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・当法人のウェブサイト、会員様の法人名およびウェブサイトのリンクを掲載させていただきます。
- ・会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

入会・継続お申し込みと会費納入方法

- ・当法人のウェブサイトの入会お申し込みフォームに必要事項をご記入のうえ、送信下さい。
<http://itojuku.or.jp/course/a/form/>
- ・下記の銀行口座までお振込みにてお支払い下さい。

みずほ銀行 青山支店 普通 2041381

特定非営利活動法人これからの建築を考える トクヒ)コレカラノケンチュウオカンガエル

- ※ 恐れ入りますが、振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。
- ※ お申込みフォームの受理とご入金確認をもって、入会・継続手続きが完了いたします。

会員公開講座

「～って何だろう？」

ー 建築関係者に限らず、広く一般の方を対象として「これからの建築」のあり方を考えます。

塾長・モデレーター

「建築」って何だろうII

伊東豊雄
(建築家)



Photo : FUJITSUKA Mitsumasa

今日私達はスマートフォン等の利用によって情報や知識が容易に手に入るようになった反面、物事について考えなくなっていました。「何故？」と問いかけることがなくなってしまったのです。そこで本講座では著名な講師に御登場頂き、各専門分野の本質を子ども(小学生高学年程度)でも理解できるような平明さで語っていただくとするものです。

講師(開催予定順)

「アート」って何だろう

名和晃平
(彫刻家・Sandwich Inc. 主宰)



京都芸術大学教授。1975年生まれ。京都を拠点に活動。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程彫刻専攻修了。2009年『Sandwich』を創設。彫刻の定義を柔軟に解釈し、鑑賞者に素材の物性がひらかれるような知覚体験を生み出してきた。近年ではアートパビリオン『洗庭』など、建築のプロジェクトも手がける。2018年にフランス・ルーヴル美術館のピラミッド内にて彫刻作品『Throne』を特別展示。

「演劇」って何だろう

野田秀樹
(劇作家・演出家・役者)



1955年長崎県生まれ。76年東京大学在学中に「劇団夢の遊眠社」を結成。92年解散。ロンドン留学を経て93年に「NODA・MAP」を設立。『パンドラの鐘』『THE BEE』『Q: A Night At The Kabuki』『フェイスピア』など、数々の話題作を発表。歌舞伎やオペラの脚本・演出も手掛け、演劇界の旗手として国内外問わず、精力的な活動を展開。09年10月、名誉大英勲章OBE受勲。09年度朝日賞受賞。11年6月、紫綬褒章受章。

「ファッション」って何だろう

滝沢直己
(ファッションデザイナー・
NAOKI TAKIZAWA DESIGN
INC. 代表)



ISSEY MIYAKE のクリエイティブディレクターを経て2007年に独立。2010年から皇后陛下(現・上皇后陛下)の衣装デザインを担当。2011年よりユニクロのデザインディレクターに就任。2014年からはスペシャルプロジェクトのデザインディレクター。2007年フランス芸術文化シュバリエ勲章受章。2018年に代官山ヒルサイドテラスに「NAOKI TAKIZAWA FITTING ROOM」をオープン。

「民藝」って何だろう

鞍田 崇
(哲学者)



1970年兵庫県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科修了。現在、明治大学理工学部准教授。近年は、ローカルスタンダードとインティマシーという視点から、現代社会の思想状況を問う。著作に『民藝のインティマシー「いとおしさ」をデザインする』(明治大学出版会 2015) など。民藝「案内人」としてNHK-Eテレ「趣味どきっ! 私の好きな民藝」に出演(2018年放送)。

「写真」って何だろう

畠山直哉
(写真家)



1958年岩手県陸前高田市生まれ。東京を拠点に、自然・都市・写真の関わり合いに主眼をおいた一連の作品を制作している。国内外で個展、グループ展開催多数。1997年木村伊兵衛賞、2001年毎日芸術賞、2012年芸術選奨文部科学大臣賞。2012年にはヴェニス国際建築展の日本館展示(コミッショナー伊東豊雄)に参加した。伊東豊雄建築作品の撮影歴も長い。

開催日数

年間 全6回(土曜午後もしくは夜、1回あたり2~3時間を原則としています。)
※コロナウイルスの影響や都合によって変更の可能性がございます。

会場

伊東建築塾 恵比寿スタジオ
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12

受講対象

正会員、賛助会員、塾生、TA

定員

60名

受講料

無料

申込方法

開催日の1ヶ月前までにご案内のメールを配信しますので、指定の方法にてお申込みください。

過去の講座のレポートは伊東建築塾のブログから
ご覧いただけます。
<http://itojuku.or.jp/blog/>



子ども建築塾

「いえとまちって何だろう？」

— 子どもたちの建築やまちに対する意識を高め、思考や表現の個性をのびします。

小学校高学年の児童を対象に、一年を通して建築やまち、環境について考えます。

前期は「いえ」をテーマに、住宅のスケールや模型のつくり方、発表の仕方などを学びながら、想像力あふれる「いえ」を設計します。後期は「まち」をテーマに、まちの成り立ちや公共空間、ランドスケープについて考えます。

テーマ

前期課題(4～9月) 『橋のいえ』

後期課題(10～3月) 『百人島Ⅱ』

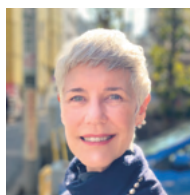
講師

伊東豊雄
(建築家)



1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「多摩美術大学図書館(八王子キャンパス)」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国家歌劇院」など。

アストリッド・クライン
(建築家)



クライン ダイサム アーキテクト(KDa)代表。共にRCAを修了したマーク・ダイサムと1991年に設立。主な作品に「代官山T-SITE／蔦屋書店」「GINZA PLACE」「星野リゾート リゾナーレ那須 POKO POKO」「toggle hotel suidobashi」など。www.klein-dytham.com

太田浩史
(建築家)



1968年東京生まれ。1993年東京大学大学院建築学専攻修士課程修了。ヌーヴ代表。東京ピクニッククラブ共同主宰。博士(工学)。主な作品に「Populous SCAPE」「久が原のゲストハウス」「矢吹町第一区自治会館」など。

柴田淑子
(建築家)



東京都生まれ。日本女子大学大学院修士課程修了。1999年より建築設計事務所エアーを共同主宰。子ども・教育に関する施設や寺院、住宅などの設計に携わる。主な作品に「真理学園幼稚園」「神田寺院」など。

式地香織
(建築家)



日本女子大学大学院修士課程、伊東豊雄建築設計事務所を経て、フリーランス。大学におけるデザイン教育の経験と建築家としての職能を活かして、子どもたちの生きる力や場を育むべく、コドモチョウナイカイ事務局を設立。

時間・回数

隔週土曜日 13:00～14:30／15:30～17:00 全20回、2期制(前期10回 / 後期10回)

※コロナウィルスの影響や授業内容により、曜日・時間を変更する場合がございます。

受講対象 定員

小学校高学年(4年～6年)の児童

36名

※定員を超えるご応募があった場合は、模擬授業による選考を行わせていただきます。

※模擬授業では、約1時間の間、出題されたテーマの「いえ」のスケッチを描きながら、講師が個別に対話を行います。

受講料

年間152,000円(月額11,000円×12ヶ月 + 教材費20,000円 / 年)

※通塾にかかる交通費は、別途ご負担ください。

※前期分として4月末までに76,000円、後期分として9月末までに76,000円ずつ納入していただきます。

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。<http://itojuku.or.jp/course/children/form/>



TA（ティーチング・アシスタント）募集

— 塾生一人ひとりの特性や理解の度合いを把握し、学習や制作をサポートのお手伝いをお願いしています。

子ども建築塾では、TA(ティーチング・アシスタント)の募集をしています。塾生たちの授業のサポートをしながら、講師の建築家から直接レクチャーを受けたり、建築家が設計した建物を見学したり、子どもたちと一緒に建築を学べるだけでなく、大学や職場を超えた建築仲間ができるチャンスです！

TAにお願いしている3つのサポート



技術面のサポート

道具や材料選び、模型の表現方法、
スケッチの描き方などのフォロー



ファシリテーター

先生方からのコメントの要約



授業準備

主に後期まち課題などのみんなで使う
敷地模型の準備

TAになって経験できること



講師・TA間での意見交換

前期・後期の授業がはじまる前に、TA向けの課題説明会を行います。
子どもたちと同じ課題を事前に共有し、講師と意見交換を行います。



見学会の参加

課題に合わせた見学会を行っており、当日の引率を若干名にお願いしています。
※コロナウイルスの影響や授業内容により、中止となる場合もございます。



建築家の講師からの指導

授業内で行われる塾生向けの特別なレクチャーと一緒に聴講でき、日々の授業内でも、直接講師からレクチャーを受けられます。



TA間でのイベント企画

TA有志でのイベント企画も大歓迎です。過去には、ピクニックに出かけたり、大学や仕事で取り組んでいることの発表会などを行いました。

時間・回数

隔週土曜日 13:00～14:30／15:30～17:00 全20回、シフト制

※コロナウイルスの影響や授業内容により、曜日・時間を変更する場合がございます。

対象

大学生以上

定員

なし

特典

会員公開講座の無料聴講（ご本人のみ）

交通費

各回500円支給

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。<http://itojuku.or.jp/course/children/taform>



今治市伊東豊雄建築ミュージアムは、瀬戸内の美しい多島海の中央に位置する大三島に2011年に開館しました。主に展示に使用される「スチールハット」と、アーカイブの保存およびワークショップの場となる「シルバーハット」があり、伊東建築塾が取り組む大三島のまちづくりの活動を紹介する他、これからのまちや建築について考えるレクチャーや子どもを対象としたワークショップなど、さまざまな活動を行っています。



スチールハット ©Daici Ano



シルバーハット ©Daici Ano

2021年度のイベント

今治市伊東豊雄建築ミュージアム2021年度展覧会 もうひとつのユートピア

会期：2021年10月31日～2022年9月16日

大三島における10年の活動を伊東が書きためた島に関する文章やスケッチをご覧いただける他、これまで伊東建築塾が制作した冊子を展示しています。また、大三島に長年暮らす方々に島の昔の姿や、思い出などを語っていただいたインタビュー映像を、写真家の高野ユリカさんの風景や人々の営みを伝える写真と共に展示しています。サロンでは伊東の建築家としての歩みを振り返るインタビュー映像を、設立50周年を迎える伊東建築設計事務所の取り組みと共にご紹介しています。



展示風景 ©Katsuhiro Aoki

独り芝居「月夜のファウスト」

日時：2021年10月31日 出演：串田和美

俳優の串田和美さんをお招きして独り芝居「月夜のファウスト」を上演いただきました。コロナ禍で多くの劇場が休館に追い込まれる中、各地の自然環境にあわせて上演される本作。大三島ではビールケースに平台をおいたシンプルな舞台で岩田健さんの彫刻と共に楽しみいただきました。西日の日差しに目を細める頃、真の幸せとは何か。「もうひとつのユートピア」展のテーマにも通づる問いを分かち合う贅沢なひと時となりました。



開催風景 ©Katsuhiro Aoki